



ウキ釣りの仕掛け類

名人は静寂の中、しんみりハリのエサ残りの状態を確認している。  
AM 7:10、S名人にブルーギルが釣れた。ちよつと寂し過ぎる感。  
風が出て活性が上がったのか、再びN名人に大物のアタリ。だがまたしてもバラシ、今日は取りこぼしが多いN名人。「何とか1本、本命を釣ってくれ」とS名人に泣きを入れる有り様



N名人は養殖鯉に強い「コイミー」で養殖鯉を狙い。S名人は「鯉タニシ」をメインにメーター級を狙う

その要望に答えるようにAM 9:00にS名人がヒット!  
だが本命の鯉ではなく、アメリカ産のナマズであった。  
気温が20度以上昇、魚の生体反応があり爆釣の予感!  
しかし、残念ながらそれはレンジョの群れが寄った生体反応だった。  
早速タナを変え、レンジョ狙いに変更。  
S名人にアタリ。鋭く合わせると貝事ヒット! 慎重に取り込んだ物は何と岩



S名人にヒット! 慎重に取り込んだ物は何と岩石だった

石だった。(大笑い)  
ナマズ大王の称号を得たN名人  
電ヶ浦の鯉をナメたらアカン!

鯉の釣れそうな匂いがする頃、仮眠を取っていた坂入さんが余裕で登場! 電ヶ浦の鯉をナメてかかって、バラシの連続のN名人にアタリの出が早く、集魚力抜群! ジャミに強い「浮子鯉」を使うように指示する。さらに「鯉にこれだ!!」を混ぜれば「鬼に金棒」で釣れないはず

アメリカナマズ大王の称号を得たN名人。  
ナマズを持つ時はトゲに注意しましょう



第3回

簡単な仕掛けとエサで  
鯉釣りを楽しもう!

巨鯉の湖 霞ヶ浦釣行記 パート1

「コイミー」をメインで養殖鯉を「鯉タニシ」でメーター級を狙う

各地で小物の鯉を制覇したN、S両名人(迷人)はウキ釣り、無謀にも巨鯉

のメツカ、霞ヶ浦の大鯉と対戦することにした。愚かにも鯉30本と軽く目標を定め、意気軒高な二人であった。

N名人は養殖鯉に強い「コイミー」をメインにイケスから逃走した養殖鯉を狙

い。S名人はタニシエサで巨鯉が釣れているというので「鯉タニシ」をメインにメーター級を狙つという浅はかな魂胆である。

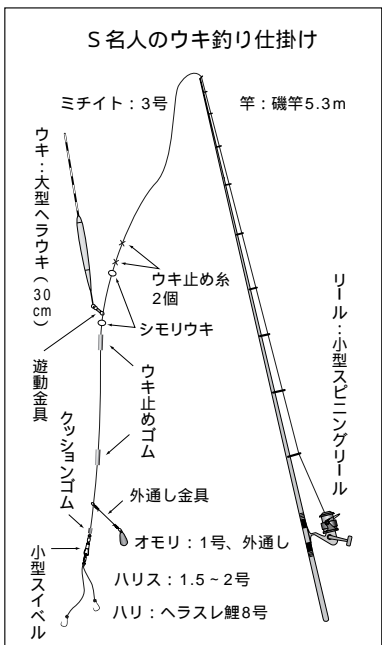
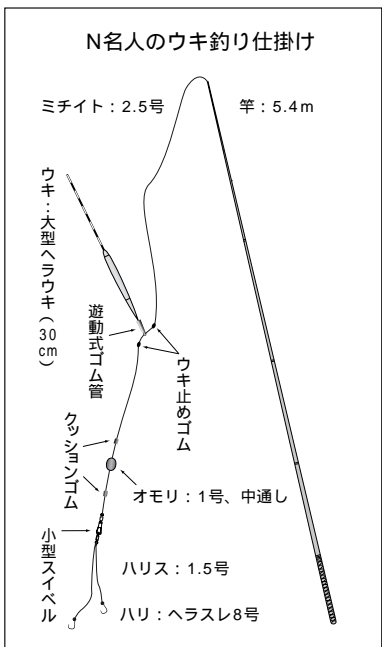
6月8日、AM 6:00にウキ釣りに強い坂入一敏インスタラクターと共に、霞ヶ浦の天王崎に集結! 北東の微風、気温18度、水温20度、水深約1mのポイントに竿を出した。

坂入さんが前夜、撒いて置いた寄せエサが効いたのか、N名人の第1投に大物のアタリ。だが一発で仕掛けをぶち切られた。N名人に続けてアタリがあったがメーター級?をもの見事にバラしてしまつ。「霞の鯉をナメたらアカンぜよ!」と鯉は仕掛けと共に悠々と湖底へ消えて行つたのであつた。

その後、アタリがバツタリ途絶え、N



「浮子鯉」に「鯉にこれだ!!」を使った  
必釣パターンで頑張るマンのN名人



S名人にチビ鯉がヒット!



坂入さんにもチビ鯉が...

はないと喝を入れる。

N名人は坂入さんから借りたリール竿に変えて再び勝負を賭ける。栄養ドリンク(ドーピング?)で気合いを入れ直しウキの微妙な動きに集中する。

AM 11:40、S名人に大物がヒット!

N名人のラインに絡みながらファイトするが惜しくも痛恨のバラシ。恐らくレンギョのスレだと思いが残念無念!

その後、粘ってみたが、魚の活性が低くアタリが遠のいたので小高干拓に移動することに。

PM 3:00に小高干拓に移動、日曜の午後は釣り人が帰ってしまい少ない。そ

3人の釣り人に釣果を聞いてみるが、あまり良い

返事は返って来ない。残り2時間に全てを賭けるが、湖面は能面のように至って静かである。

PM 3:45、N名人にヒ

ット! だがまたしても得意のナマスである。続いてS名人にいに待望の鯉がヒット! しかし、ニゴイだった。残念!

風が変わり、坂入さんについて本命の中型鯉55cmが釣れたが、PM 5:30過ぎで



本日の釣果は? ナマスにニゴイ、それに鯉の大物は?

時すでに遅しの感である。

PM 6:15、N名人にまたもやナマスが釣れ、見事ナマス大王の称号を得た。

6月はナマスの産卵時期、ナマスの大群、長さに負けて本命の鯉が寄って来ないとは...。最後までナマスに翻弄され、今いち盛り上がりせずに幕を閉じた霞ヶ浦チャレンジであった。

反省として少ないアタリは確実にものにする。タックルと仕掛けは獲物のサイズに合わせたものを使うこと。「霞の鯉をナメてはいけない」ということを頭に叩き込んで、リベンジを固く誓うN、S両名人であった。

## 巨鯉の湖

# 霞ヶ浦釣行記

### パート2

霞ヶ浦の鯉をナメたらアカン!  
条件で場所を見切る決断が必要

6月18日、前回の取材で痛い目に合ったナマスの敵討ちに再び、霞ヶ浦に集荷、ナマスの目を盗んで選んだ場所は霞ヶ浦大橋近くの石田ドック、早朝6時半に気合い十分、入れ込みぎみでスタート!

その日の条件は北東の風後、南の風の予報、気温22度、水温23度、水深約1.5m

のポイントに竿を出す。

今日のテーマは坂入さんお薦めの「浮子鯉」に「鯉にこれだ!!」を使った必釣パターンの実証である。坂入さんいわく「前回の二人の狙いは間違っていないが腕がなあ」、「浮子鯉」さえあれば簡単に釣れるんだからと...

N名人は前回、のべ竿で霞ヶ浦の鯉をナメてバラした反省から、小型リール付きの竿にスケールアップしての挑戦であ

第3回 簡単な仕掛けとエサで鯉釣りを楽しもう!

坂入さんが良型の鯉を釣った



坂入さんは「鯉のぼり」の隠しエサを混ぜたバージョンで釣果アップ!

さんが型をアップして本命鯉を追加。しかし、これには理由があつて、坂入さんは「浮子鯉」、「鯉にこれだ!!」に「鯉のぼり」の隠しエサを混ぜたバージョンを使つたらしい。「鯉のぼり」は青のりが入つていて集魚性の強い顆粒状のエサで坂入さんの好きな実績のあるアタリエサだった。

突然、N、S両名人にダブルヒット!! やつた、やつた、早くも午前中に取材終了と喜んだのも束の間、何と何と本命の鯉ならぬ、天敵のナマズのダブルヒットではないか、それも型物とは…。喜ぶのは「小笠原水産」のみ、トホホ…。マルキューナマ研の本領発揮である。10時半過ぎにナマズが寄つて来たので、見切りを付け歩崎に移動する。

少し早い昼食を取つて気分も一新さあ、戦闘開始である。しかし、時間的には活性、食いがあまり良くない。AM 11:35に柏崎では調子の良かった坂入さんがナマズを釣る。ナマズではさすがに「俺の番だ!」とは言えない。1時間後、静寂を破つてS名人に型物のナマズがヒット! あゝあ、ナマズ大王様。

「浮子鯉」「鯉にこれだ!!」の「コンビネーション」は最高のエサ



N、S両名人に天敵のナマズがダブルヒット!!



N名人が、鯉は鯉でも長いニゴイを釣る

「やはりエサは水加減と微妙な練り加減バラケ具合に腕の差が出ますなあ」と場所変えが当たつてすっかり上機嫌の坂入さんである。

一方、前回ナマズ大王の称号を得たN名人が、鯉は鯉でも長いニゴイを釣る。やはり、いつも見せてくれますなあ。(笑)



前回の雪辱をはらすウキ釣りで釣れた良型の鯉

AM 7:00、N名人は第1投で本命の鯉(チビ鯉)をゲット! やつたね、坂入さんが前夜、撒いて置いた寄せエサの効果である。さらにS名人がヘラスレ鯉のハリでスレ鯉を釣る。バージョンアップした大きなスカリに小さな小鯉たちが見事に納まった。雨という予報が外れ、幸先の良いスタート。しかし、S名人がレン

ギョをスレでバラした後、アタリが途絶え、1時間経過。レンギョが寄っているので坂入さんは「特別にレンギョでも釣つてやるか?」とレンギョ狙いに変えた様子である。S名人が今度はスレでなく、本命の鯉を釣る。その5分後、天敵のアメリカナマズが食い付く。釣った魚は何でも食べるといふマルキュースタッフの「小笠原水産」御用達のお土産用にキープ。なぜか大スカリが役立ちそうな嫌な予感が…。北東の風から南の風がサワサワと吹き始め、小さなアタリばかりで大鯉は食い込まない。前回、アタリがないのに粘り負けした教訓を活かして、釣り場を移動



チビ鯉を釣り幸先のよいスタートに満足げなN名人

次のポイントを柏崎に決め、再スタート。ここにも坂入さんが寄せエサを投入してある。坂入さんに第2投目で中型の鯉らしい鯉が釣れて一安心。さらに坂入

本日のスペシャルエサ作り



「浮子鯉」に「鯉にこれだ!!」を使いウキ釣りのエサを作る



「浮子鯉」に「鯉にこれだ!!」をキャップで少々混ぜる

さらに水を1カップ入れる

軽く混ぜしばらく放置し  
てでき上がり

る。両名人は早速、仕掛けとエサ作りに専念。

することに。その時の条件で場所を見切る決断の早さも必要なのだ。

天敵のナマズのダブルヒット! マルキューナマ研の本領発揮!

釣行レポート

栗林 実

私が釣った95cmの猪苗代湖の大鯉



## タニシエサと並んで竿を出し 巨鯉のベースエサで鯉爆釣!

鯉は釣れないと言われている猪苗代湖で鯉釣りをすることになり、新潟から私を含む3人、関東からは6人の総勢9人で初挑戦しました。

5月30日のAM10:00頃、地元の人が我々の目の前で98cmの巨鯉を釣り上げ、酸水湖なので「釣果の方は期待できない」という話は一遍に吹き飛び、吸い込みダンゴを握る手にも力が入りました。

私が選んだ場所は護岸から20mくらい先までヨシが生えたポイントで、川幅2m足らずの吐き出しを挟んで西側に千葉のY氏が入り竿3本、東側には私が竿2本を出しました。

### 私の吸い込みエサ

巨鯉：1袋  
みどり：1/4袋  
鯉武蔵：1/4袋  
鯉むぎ：1/4袋  
くわせ：手づくり芋

Y氏は千葉から持って来たタニシの1本バリ、私は練りエサを主体に2本バリ仕掛け(ハリ海津20号)で夕方第1投を打ち込みました。

その日のPM6:00に私が82cmをゲット!その後も昼夜を問わず満遍なくアタリがあり、31日にはAM6:00に82cm、AM9:00、88cm、PM7:00、60cmを釣りしました。翌日AM4:30には最大の95cmを釣り上げ、爆釣しました。

隣のY氏もタニシから吸い込みダンゴに換えた途端に81cmを釣り上げ、おでこをまぬがれ、私は盆と正月を同時にまねき入れたかのような最高の気分でした。

続いてN名人が中型の鯉を釣る。よつやくナマズ太王から解放か?  
さらにS名人が久し振りの鯉を「ゲツッ!」坂入さんのアドバイスで場所を変えたのが大正解となった。  
雨が少しパラつき蒸し暑い。沖にはボラがピョン、ピョン飛び跳ね、時々、鵜が顔を出す。依然としてウキがズボツと消し込むアタリがない!



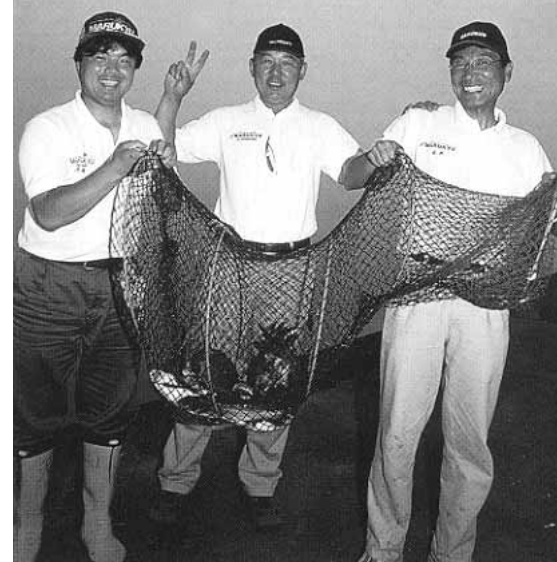
S名人に中型本命鯉がヒット!

PM3:00頃、仕事の都合で引き上げる坂入さんに釣れた要因を聞くと、なんと食いが渋くなった時に「浮子鯉」、「鯉のぼり」、「鯉にこれだ!!」を使い、バラケさせるために最後に「もじり」を入れ、「いもグルテン」でまとめたエサをこっそり使ったとのこと。

マルキユウのウキエサの配合を駆使し、究極の隠しエサを使うとは...。さすがインストラクター恐れ入りました。脱帽!

その後、S名人が良型の鯉をしとめ時合かと思われたが、雨が強くなり、風が吹いて天候が急変、ウキのアタリが取れない状態になる。それでもN、S両名人はめげずに本命鯉の数を重ねた。  
結局、PM4:00に納竿するまでに、トータルで中型40cm前後の鯉9、チビ鯉5、ナマズ6、ニゴイ1の大成果を上げるこ

中型40cm前後の鯉9、チビ鯉5、ナマズ6、ニゴイ1の大成果に喜びの氣勢を上げる面々



雪辱をはらすことができ、満悦であった。今回の総括として、坂入さんの確かなアドバイスで釣り場の状況を判断、思い切った場所を変え、足で拾い釣りしたのが良い結果に現われたのだと思う。また「浮子鯉」と「鯉にこれだ!!」のコンビネーションだけで、十分鯉が釣れるということが実証できた釣行となった。  
警沢を言えばメータークラスの巨鯉と渡り合えなかったことである。それは次回を楽しみで好しとしよう。お疲れ様でした。

## 紀ノ川の 中流域がホームグラウンド

庄司和則（和歌山県）



温暖な和歌山県の紀ノ川では、1年中釣りができ、平均して鯉の型も良いです。鯉の中型の釣りをする楽しみもありますが、私は大物にターゲットを絞り、ホームグラウンドの紀ノ川、中流域で竿を出しています。

私の好きなベースエサは「鯉パワー」です。粒子が粗く比重があるので、流れのある紀ノ川に適しています。植物性主体のエサなので大物を寄せて待てるという利点があり、大川で自己記録の98cmを釣った実績があります。「鯉パワー」単品でも良いですが、私は「鯉パワー」1にサツマイモが主成分の「鯉武蔵」1/2と「鯉将」1/2を混ぜて使うパターンが多く釣果を上げています。

大物にターゲットを絞る時には、粒の荒い植物性の「巨鯉」をベースに「鯉武蔵」と「鯉将」を混ぜ、さらに比重があり、底に残る「スーパー鯉むぎ」などを加えることもあります。他に私が好きなエサは大粒のイモのチップが多く入っている「イモ吸い込み」です。釣り場の状況によってエサの配合を考えるのも鯉釣りの楽しみです。

## 大和川は 魚影も濃く自己記録達成！

小園紀生（大阪府）



私が鯉釣りでメインで使っているのは、粒が大きく植物性で長時間待てる「巨鯉」で一番実績があります。流れのある川ではバラケにくくするために「巨鯉」にパン粉を混ぜることもあります。

動物性のエサでよく使つのはカニ粉、魚粉など、動物性タンパクの匂いを多く含んだ鯉師」です。強烈な匂いで寄せ、早いアタリで勝負します。

植物性素材の「鯉パワー」などを使うこともありますが、基本的には粒の荒い植物性の「巨鯉」のベースエサで十分釣れます。私は吸い込み釣りではなく、寄せのダンゴを3本の糸で挟み、くわせの2本バリにくわせエサを付けて釣る釣り方をしています。ダンゴは鯉を寄せるための役割をします。

くわせエサは「浮子鯉」と「三色スイミー」を親指大に丸め2本バリに付けます。くわせエサでよく使つのは「いもよかん」です。

私のホームグラウンドの大和川は水質はあまり良くありません。しかし、魚影は濃く、自己記録は大和川で釣った85cmです。

## 酒匂川の 釣り場は家から5分のぼくの池？

本澤勇太（11歳・神奈川県）



小学生のぼくは家から自転車で5分の酒匂川で鯉釣りをしています。そのポイントにはあまり釣りがいませんので、自由に鯉釣りが楽しめます。その他、花水川河口へも鯉釣りに時々行きます。

ぼくの大好きなエサは「巨鯉」です。粒の荒い植物性の「巨鯉」に「鯉武蔵」「鯉将」「スーパー鯉むぎ」を混ぜ、蒸かしたさつまいもをつなぎに入れて粘りを出します。この基本エサで十分鯉が釣れますが、違う配合エサのパターンを作る時でもバラケやすくするように「スーパー鯉むぎ」は必ず入れるようにしています。アタリが遠い時など、状況によって集魚力満点の「大い」を使うこともありますがよく釣れます。

ぼくの仕掛けは吸い込みの4〜5本バリに掛けます。くわせには「手つくり芋」を小さく切って付けます。くわせエサには持ちが長い「手つくり芋」が最高です。

ぼくの自己記録は酒匂川で釣った86cmですが、「巨鯉」のエサでもっと大きな巨鯉を釣りたいと頑張っています。